

新年度が始まりましたね！急に暑くなったり寒くなったり、アップダウンの激しい春ですが、気持ちを新たに、体調管理にも気を付けて楽しんでいきましょう(◡‿◡)♪

01 新セナー長 就任挨拶

4月1日よりシミュレーションセンター長を拝命いたしました麻酔・蘇生学講座の牧野でございます。何卒よろしくお願い致します。

教科書の知識をいくら積み重ねても、手技は身につくものではありません。昔であればそれこそ実臨床で患者さん相手に多くの手技を繰り返して上手になっていくことが許された時代もありましたが、現在ではそうはいきません。自分が患者さんであったならば、特に初めて行う手技はシミュレータで充分練習してからやってほしいと誰でも思うことでしょう。当センターは24時間利用可能となっています。いつでも利用することができますので、是非有効に活用していただき、手技の習熟に努めていただければと思います。

学生さんは特にOSCEの直前に利用していただくことが多いようです。昨年8月からOSCEが義務化されましたので、全ての学生さんが満足するまでシミュレータを利用していただけるよう環境整備に努めたいと思っております。

本年度内に高次機能シミュレータの新規購入が行われます。今後、新購入したシミュレータの活用、センターのさらなる活性化のために、各種セミナーの開催なども企画できればと思っております。皆様からも是非様々なアイデアやご要望をお寄せいただけますと幸いです。

旭川医科大学シミュレーションセンター長
牧野 洋

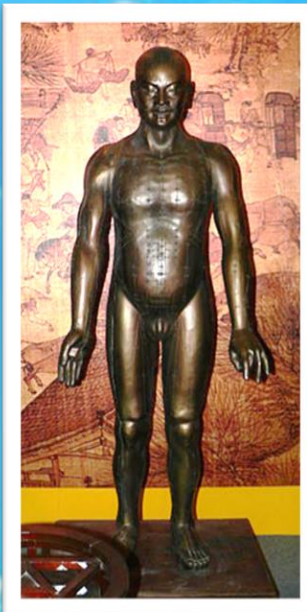


「鍼灸銅人」 東京国立博物館所蔵

ほぼ等身大の銅でできた大きな人形です。18世紀末、江戸幕府の侍医、山崎宗運が宋の時代の鍼灸書と自らの研究をもとに作成したものです。右の拡大写真のように、全身のツボに小さな穴があげられています。

鍼灸銅人は鍼灸医の試験に用いられました。表面に蠟をぬって、触っても穴が解らないようにしておきます。目隠しをされた学生が人形を触ってツボを同定し、管状の針を刺します。針がツボの位置に開けてある穴に上手く入れば、中に仕込まれた水銀を満たした袋から水銀が流れ出して、正解が解る仕組みとなっていました。

これぞまさに医学シミュレーションのはしりとも言えるものではないでしょうか？



++ セナーの受付時間について ++

++ 昨年度から引き続き、事務の対応時間が9時～17時までになりました（正確には16時までですが、16時以降の問い合わせが多いため、ほとんど毎日17時までにはラボにいます。）++
++ 土日祝日、平日夜間は対応時間外です。 ++



02 臨床シミュレーションセンター紹介

基本的臨床シミュレーション室

採血用の腕モデルや縫合セット等があるラボ。主に看護部が利用。



救命救急シミュレーション室

急変対応訓練用の高機能患者シミュレータが並ぶラボ。主に救急科が利用。



コンファレンス室



カンファレンスルーム。受付もここ。

手洗い演習で利用されるラボ。

手洗練習室



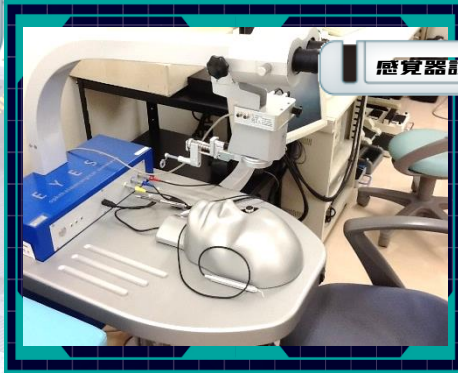
大型エコーの収納場所。

教材作成室



感覚器診断シミュレーション室

眼科手術シミュレータやエコーなどが並ぶラボ。BLS用のモデル等も収納されている。



利用案内

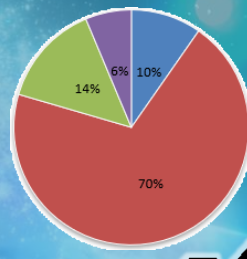
- 🍎 24時間利用OK
 - 🍎 予約優先（予約状況を確認してください。）
 - 🍎 利用後は「使用簿」を提出
 - 🍎 飲食厳禁
- ※その他の利用案内についてはHP等をご確認ください。

令和5年度 利用実績報告

令和5年度は新型コロナウイルスの規制が緩和されたことで、感染以前の利用状況に戻りつつあるような数値を見せました。利用人数が大幅に増えたのはとても喜ばしいことです。今年度も更なる利用があるよう期待しています♪

R5年度利用者率

- = 医師 / ■ = 看護師
- = 学生 / ■ = その他



利用件数	624件
利用人数	7979人
利用時間	3060時間

03 新規購入シミュレーションの紹介

婦人科系・救急系のもを新規導入しています。詳しくはセンター内のポスターで！

🍎 編集後記 +++
 新年度になったので、CSC通信もデザインを変えました。遂に禁断の領域に手を出してしまった…今年度もお付き合いをどうぞよろしくお願いいたします。
 (作成: ガンプラ女子 津野)